



クリエイターのための やさしい習慣ガイド

公開前の30秒でできる 創作の先取り証明ガイド

「これ、自分が先に描いたよ」をのこすコツ

個人で描く人も、学校で学ぶ人も、小さなチームも。
むずかしいことはなし。公開前の30秒で「自分が先」をのこせます。

発行:株式会社AKUODIGITAL — stii タイムスタンプメールサービス



はじめに

絵を描く、デザインをする、文章を書く。せっかく時間をかけて生み出した作品が、ある日とつぜん「誰かのもの」みたいに使われていたら、悲しいですね。あるいは逆に、まったく身に覚えがないのに「これ、マネしたんじゃない?」と言われてしまうことも。

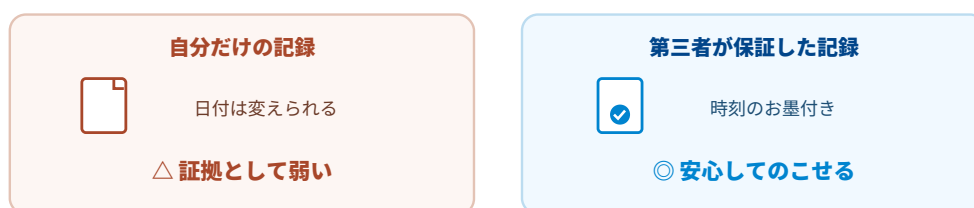
こういうとき、いちばん心強いのが「**これ、自分が先に作ったよ**」と**すぐ示せること**。でも、それを後から用意するのはとても大変です。だからこそ、**作る途中や公開する前に、ちょっとだけ記録をのこしておく**——それだけで、いざというとき自分を守れます。

この冊子は、むずかしい法律の話はおいておいて、「今日からできるかんたんな習慣」だけをまとめました。個人で描いている人、学校で学んでいる人、少数で制作している人。みんなに役立つ、小さなコツ集です。しかも、その習慣は**メールを1通送るだけ・公開前の30秒**でできてしまいます。

! 大事なことを先にひとつ。「**似ているかも**」と思っても、**すぐ誰かを責めないこと**。似ている＝マネ、とは限りませんし、思いこみで指摘すると逆にトラブルになることも。まずは落ち着いて、自分の記録を整えるのが先です。困ったら、信頼できる先生や専門家に相談しましょう。

なぜ「記録」が大事な?

パソコンに保存したファイルの日付は、実はあとから変えられてしまいます。だから「このファイル、○月○日に作った」と自分で言うだけでは、証拠として少し弱いんです。ポイントは、**自分以外の誰か(第三者)が「この日にあったよ」と保証してくれる形**でのこすこと。



同じ「のこす」でも、第三者のお墨付きがあると強い

こんなとき、メール1通が効いてきます

「いつ使うの?」という、クリエイターの日常にこんな場面があります。どれも、公開前にメールを1通送っておくだけで、後から落ち着いて動けるようになります。



シーン1: SNSに投稿する前に。新作を公開する前、線画や完成データをstiiに1通送っておく。もし後で無断転載やトレパク疑惑が起きても、「自分のほうが先にあった」と時刻つきで示せます。投稿のついでの30秒が、お守りになります。



シーン2:お仕事のデータを納品する前に。 Skebや個人依頼で納品する前に、納品データをstiiに1通。
「いつ仕上げたか」がのこるので、後から制作の先後を疑われたときの裏付けになります。コンペやコンテストの応募前にも同じように使えます。

どれも特別な準備はいりません。**いつものメールに1つのアドレスを足すだけ。**これがクリエイターにとって、いちばん手軽で続けやすい「証拠をのこす習慣」です。

+ 公開する前の、6つの習慣

どれも数十秒でできることばかり。全部やらなくても、できるものから少しずつでOKです。



1. 完成品だけでなく、途中のデータも保存

書き出したPNGだけでなく、レイヤーの残った作業ファイル(.clip / .psd)、ラフ、下描き、ボツ案も一緒に保存。「描く過程」がのこっていること自体が、自分で作った何よりの証拠になります。



2. ラフ・線画・着色を、別々に保存

上書きせず、段階ごとに別名で保存。「真っ白から完成まで」の流れがそろっていると、自分で一から作ったことがよく伝わります。後で紹介する方法で各段階に記録を付けておくと、さらに安心です。



3. 公開する「前」に、時刻の記録をつける ★

これがいちばん大事。投稿したり納品したりする**前に**、第三者が時刻を保証してくれる記録(タイムスタンプ)をつけておきます。公開した後では「公開前からあった」ことは示せません。やり方はこの冊子の後半で。



4. 依頼のやりとりを保存

Skebや個人のお仕事では、依頼内容・納品したデータ・受け取りの連絡を保存。「商用利用OK」「クレジット表記あり」など、口約束やDMで決めたこともメールで文字にのこしておくと安心です。



5. 公開した日も、ちゃんとのこす

X(旧Twitter)やpixiv、Instagramの投稿日時は、消したり仕様がかわったりすると遡れなくなります。投稿のスクショだけに頼らず、公開前のデータに時刻の記録をつけておくのが確実です。



6. ファイル名と置き場所に、自分ルールを

「最終_ほんとの最終.clip」では未来の自分が泣きます。「日付+作品名」で名前を決め、作品ごとにフォルダへ。時刻の記録(証明書)は、元のデータと同じフォルダに入れておきましょう。

タイムラプスも、いい習慣。でも…

制作のようすをタイムラプス(早送り動画)でのこす人は多いですね。SNSでも人気だし、「自分が描いてます」のアピールにもなる、とてもいい習慣です。ただ、いざ「証拠」として考えると、ちょっとだけ弱いところもあります。**やめる必要はまったくなくて、「ひと工夫を足すと強くなる」という話です。**



あとで消せる

自分でいつでも
消せる・作り直せる



第三者の保証なし

自分の手元の記録
なので時刻が弱い



容量が大きい

長い動画は1GB超も。
全作品には大変

タイムラプスの、ちょっと弱いところ3つ



だから、「タイムラプス+時刻の記録」がおすすめ。過程はタイムラプスで楽しく見せて、時刻は第三者の記録でしっかり押さえる。この2つを合わせると、「自分が描いた」がぐっと伝わりやすくなります。

メール1通でできる「時刻の記録」

「第三者の記録なんて、むずかしそう…」と思うかもしれませんが、じつは**メールを1通送るだけ**。stii タイムスタンプメールサービスを使えば、こんなに簡単です。



むずかしい設定もインストールも不要。いつものメールでOK

.clip や .psd、画像データも、形式を変えずにそのまま記録できます。発行されるのは、国（総務大臣）が認定した正式なタイムスタンプです。

ちょいテク：件名に「段階」を書いておく

送るメールの件名に制作の段階を書いておくと、その段階が記録にのこって、後から見返しやすくなります。ラフ・線画・着色をそれぞれ送れば、「**白紙から完成まで**」の流れが、時刻つきでまるごとのこせます。



宛先: stamp@stii.com

件名: [線画] わたしの作品_20260613

添付: 線画.clip

[ラフ] → [線画] → [着色] と段階ごとに送るのがおすすめ

宛先は「To」と「CC」で使い分け

- To** 自分だけに証明書を受け取りたいとき。個人制作で、自分の控えとしてのこす使い方。
- cc** 相手にも同じ証明書を届けたいとき。Skeb・依頼の納品や共同制作で、相手にも「いつ渡したか」がのこります。

まずは無料で—— 毎月5ファイルまで

登録なしでそのまま試せます。登録すると送信履歴の確認やメンバー招待もできて、有料プランは月540円（税抜）から。「次に公開するイラストの線画で、ために1通」——そんな軽い気持ちで。

今すぐ無料で試してみる ▶

作品を守る かんたん習慣チェック

公開する前に、できるものから。印刷してデスクの横に

-  **1. 途中のデータも保存** —— 完成品だけでなく、作業ファイル・ラフ・ボツ案も
-  **2. 段階を別々に保存** —— ラフ／線画／着色を別名で。流れをのこす
-  **3. 公開「前」に時刻の記録 ★** —— 投稿・納品の前にタイムスタンプを
-  **4. 依頼のやりとりを保存** —— 依頼・納品・受領。口約束もメールで文字に
-  **5. 公開日ものこす** —— 投稿日時に頼らず、公開前データに記録を
-  **6. 名前と置き場所にルール** —— 日付+作品名。証明書は元データと同じフォルダへ

時刻の記録は、メール1通でOK。 CCに stamp@stii.com を入れてデータを添付するだけ。約30秒で証明書が届きます。毎月5ファイルまで無料 —— stii タイムスタンプメールサービス(株式会社AKUODIGITAL) **無料ではじめる → stii.com**

本書は一般的な情報提供を目的としたもので、法的助言ではありません。心配なことがあれば、信頼できる先生や弁護士など専門家にご相談ください。記載の制度・価格は2026年6月時点の情報です。

発行:株式会社AKUODIGITAL —— stii タイムスタンプメールサービス <https://stii.com> / 〒108-0014 東京都港区芝四丁目7番6号 芝ビルディング704 / © AKUODIGITAL Corp.